

# 教育委員会事務に係る点検・評価報告書

平成29年度（平成28年度事業対象）

平成29年12月

東金市教育委員会

## 【目次】

|     |                      |    |
|-----|----------------------|----|
| 第1章 | 点検・評価の対象・方法          | 1  |
| 第2章 | 教育委員会の諸活動            | 2  |
| 1   | 教育委員の活動実績            | 2  |
| (1) | 総合教育会議               | 2  |
| (2) | 教育委員会会議の開催状況         | 2  |
| (3) | 教員委員の研修・行事への参加及び学校訪問 | 4  |
| 第3章 | 重点施策ごとの取組状況          | 5  |
| 1   | 東金市の基本理念             | 5  |
| 2   | 東金市教育基本計画の施策体系       | 5  |
| 3   | 教育委員会事務に係る点検・評価      | 7  |
|     | 【学校教育・家庭教育の柱】        | 7  |
|     | 【生涯学習・歴史文化の柱】        | 22 |
|     | 【スポーツ振興の柱】           | 30 |

# 第1章

## 点検・評価の対象・方法

### 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、すべての教育委員会は、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。

東金市教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を実施し、報告書を作成しました。

### 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、東金市教育振興基本計画『未来へつなぐ 教育のまち 東金の創造』の中で掲げた、重点施策に対する事務事業の取組内容について点検・評価を行いました。

### 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、基本構想である東金市第3次総合計画第4期基本計画（平成28年度～平成32年度）をもとに、本市の目指すべき教育の姿と取り組むべき施策の方向性を示した東金市教育振興基本計画（平成28年度～平成32年度）の重点施策ごとに取組内容を評価し、定めた目標（値）の達成状況を明確にするるとともに、今後の課題等に対する取り組みについて検討しました。

また、学識経験を有する外部有識者からの意見を聴取し、知見の活用を図りました。

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

東金市教育振興基本計画の進行管理は、PDCAサイクル※に基づき行い、その結果、社会情勢の変化や事業の推進状況等を勘案し、必要に応じて適宜見直しをしています。

※PDCAサイクル Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の4段階を繰り返すことで、継続的に改善を図る仕組み。

## 第2章

### 教育委員会の諸活動

#### 1 教育委員の活動実績

##### (1) 総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成27年4月1日に施行されたことに伴い、市長と教育委員会が協議・調整する場として総合教育会議が設けられました。平成28年度の開催状況は以下のとおりです。

開催日 平成28年11月21日

議 題 (1) 東金市教育振興基本計画に基づく施策の実施について  
いじめ対策の推進について

##### (2) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会では、毎月1回、教育委員会定例会を開催しています。

平成28年度は定例会を12回、臨時会を1回開催し、教育委員会の事務執行に関する事項等について審議等を行いました。

###### 【定例会開催日】

4月20日、5月25日、6月21日、7月21日、8月23日、9月21日、  
10月20日、11月21日、12月21日、1月19日、2月17日、  
3月22日

###### 【臨時会開催日】

3月7日

教育委員会会議における審議案件等の一覧

人事関係9件、条例・規則関係6件、その他8件、合計23件の議決を行いました。

| 議決事項 |                          |
|------|--------------------------|
| 区 分  | 件 名                      |
| 人事関係 | ①東金市スポーツ推進委員の委嘱について      |
|      | ②東金市スポーツ振興協議会補欠委員の委嘱について |
|      | ③東金市立幼稚園の園長の任免について       |
|      | ④学校歯科医の委嘱について            |
|      | ⑤学校薬剤師の委嘱について            |
|      | ⑥東金市社会教育委員の委嘱について        |

|         |  |
|---------|--|
|         | ⑦東金市家庭教育指導員の任命について                         |
|         | ⑧東金市公民館運営審議会委員の委嘱について                      |
|         | ⑨東金市図書館協議会委員の任命について                        |
| 条例・規則関係 | ①東金市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について             |
|         | ②東金市要保護及び準要保護児童生徒就学援助に関する要綱の一部を改正する告示について  |
|         | ③東金市立小中学校及び幼稚園における学校給食の申込み等に関する要綱の一部改正について |
|         | ④東金市スポーツ推進審議会条例の制定について                     |
|         | ⑤東金市立小学校及び中学校就学区域に関する規則の一部改正について           |
|         | ⑥東金市要保護及び準要保護児童生徒就学援助に関する要綱の一部改正について       |
| その他     | ①使用教科用図書の採択について                            |
|         | ②教育委員会所管に係る補正予算について                        |
|         | ③教育委員会事務に係る点検・評価報告書について                    |
|         | ④東金市立幼稚園の園児募集について                          |
|         | ⑤教育功労者の顕彰について                              |
|         | ⑥東金市一般会計予算について                             |
|         | ⑦東金市学校教育指導の指針について                          |
|         | ⑧東金市教育委員会児童生徒表彰について                        |

下記の事項を教育委員会会議で協議しました。

|                                       |
|---------------------------------------|
| 協議事項                                  |
| ①千葉県教育予算及び人事に関する要望書について               |
| ②教育委員会事務に係る点検・評価報告書について               |
| ③東金市立学校職員の人事評価に係る苦情の申出及び取扱いに関する要綱について |
| ④放課後子ども教室について                         |
| ⑤地震対策について                             |
| ⑥公民館の自主運営について                         |
| ⑦教職員の多忙化に係る中学校の部活動の支援について             |
| ⑧給食費未納対策について                          |
| ⑨行事の後援について                            |

### (3) 教育委員の研修・行事への参加及び学校訪問

教育委員は、教育委員会会議の他に、研修や行事に積極的に参加し、教職員や他市町の教育委員、また市民や児童生徒・保護者と意見交換をするなどを行い、現状や課題の把握に努めました。

| 参加日       | 研修会等                                     |
|-----------|--|
| 4月22日(金)  | 山武地区教育委員会連絡協議会<br>理事会・表彰者選考会(春)          |
| 5月20日(金)  | 山武地区教育委員会連絡協議会<br>総会・教育功労者表彰式(春)         |
| 5月27日(金)  | 関東甲信越静市町村教育委員会連合会 総会・研修会                 |
| 6月1日(水)   | 千葉県市町村教育委員会連絡協議会 定期総会                    |
| 6月1日(水)   | 北中学校訪問                                   |
| 6月24日(金)  | 東中学校、豊成小学校訪問                             |
| 7月12日(火)  | 源小学校訪問                                   |
| 8月3日(水)   | 東金市子ども議会                                 |
| 10月4日(火)  | 山武地区教育長協議会・山武地区教育委員会連絡協議会<br>合同研修会       |
| 10月4日(火)  | 山武地区教育委員会連絡協議会<br>理事会・表彰者選考会(秋)          |
| 10月8日(土)  | 東金市民体育祭                                  |
| 10月24日(月) | 千葉県・千葉県市町村教育委員会連絡協議会共催<br>第1回教育長・教育委員研修会 |
| 11月1日(火)  | 山武地区教育委員会連絡協議会<br>教育功労者表彰式(秋)            |
| 11月1日(火)  | 山武地区教育委員会連絡協議会 研修会                       |
| 11月1日(火)  | 山武地区教育委員会連絡協議会 情報交換会                     |
| 11月3日(木)  | 東金市文化・芸能大会                               |
| 11月8日(火)  | 鶺嶺小学校、丘山小学校訪問                            |
| 11月21日(月) | 東金市教育功労者表彰式                              |
| 1月24日(火)  | 千葉県市町村教育委員会連絡協議会<br>第2回教育長・教育委員研修会       |
| 3月7日(火)   | 東金市児童・生徒表彰式                              |

## 第3章

### 重点施策ごとの取組状況

東金市教育委員会では、平成28年3月に策定しました「東金市教育振興基本計画」をもとに重点施策について点検・評価を行い、その取組状況を教育委員や学識経験者からの意見等をまとめました。

#### 1 東金市の基本理念

##### 未来へつなぐ教育のまち東金の創造

歴史と伝統のある私たちの東金。

学校・家庭・地域が連携し、人を思いやり、人と人とのつながりを大切にする豊かな人間性を育みます。

夢や希望の実現に向け、自ら学ぼうとする意欲をもって、心身ともに健やかに、生涯にわたり学び続けられる機会の充実を図ります。

#### 2 東金市教育振興基本計画の施策体系

| 基本方針   | 基本目標                                | 重点施策                                |
|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 【学校教育・家庭教育の柱】<br>生きる力を育み、総合的な人間力をもった子どもたちの育成 | 1 基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、思考力や表現力の向上を図る | (1)確かな学力の育成                         |
|  |                                     | (2)特別支援教育の推進                        |
|  |                                     | (3)情報教育の推進                          |
|  |                                     | (4)国際教育の推進                          |
|  | 2 自他を思いやり、豊かな心を育成する                 | (1)いじめ対策の推進                         |
|  |                                     | (2)生徒指導の充実<br>(長欠・不登校解消に向けた取り組みの充実) |
|  |                                     | (3)道徳教育の推進                          |
|  | 3 健やかな体を育成するとともに、体力の向上を図る           | (1)学校体育の充実                          |
|  |                                     | (2)健康教育の充実                          |
|  |                                     | (3)食育の推進                            |
|  | 4 家庭・地域・学校の連携を強化する                  | (1)地域に開かれた特色ある学校づくりの推進              |
|  |                                     | (2)学校評価の充実                          |

|  |   |                                 |
|--|---|---------------------------------|
|  |   | (3)家庭・地域の教育力の向上                 |
|  |   | (4)学校施設の整備・充実                   |
| <b>【生涯学習・歴史文化の柱】</b><br>生きがいをもって学び、ふるさとに誇りをもてる人づくり | <b>5</b> 人づくりから始まる生涯学習の推進を図る                  | (1)多様な学習機会の提供                   |
|  |   | (2)青少年健全育成の推進                   |
|  |   | (3)公民館事業の充実                     |
|  |   | (4)図書館事業の充実                     |
|  |   | (5)城西国際大学との連携                   |
|  | <b>6</b> 歴史・文化を活用した地域力の向上を図る                  | (1)芸術文化団体活動の推進                  |
| (2)郷土の歴史と文化の保存、活用                                  |   |                                 |
| (3)文化施設の利用促進                                       |   |                                 |
| <b>【スポーツ振興の柱】</b><br>健やかで活力に満ちたライフスタイルの支援          | <b>7</b> 誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーションの推進を図る           | (1)スポーツ・レクリエーション活動の充実と推進        |
|  |   | (2)関係団体との連携とスポーツ指導者の養成          |
|  |   | (3)スポーツ施設の利用促進                  |
|  | <b>8</b> 2020東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進を図る | (1)2020東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致 |
|  |   | (2)スポーツ人口の拡大                    |



### 3 教育委員会事務に係る点検・評価

【学校教育・家庭教育の柱】

**生きる力を育み、総合的な人間力をもった子どもたちの育成**

**基本目標 1 基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、思考力や表現力の向上を図る**

【所管：学校教育課】

#### 重点施策 1－（1）確かな学力の育成

基礎的・基本的な知識や技能を習得し、それらを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力の育成に努める。また一人ひとりが、主体的に学習に取り組み確かな学力の向上を図る。

- ①全国学力・学習状況調査における全国平均値の達成
- ②千葉県標準学力検査における千葉県平均値の達成
- ③家庭学習の進め方について、指針の作成の検討
- ④蔵書の学校図書館標準 100%の達成及びデータベース化に向けた準備

#### 取組内容・成果

##### ①全国学力・学習状況調査における全国平均値の達成

- ・本調査は、小学校が6年、中学校が3年に限定し、しかも国語、算数（数学）の2教科を対象としたものである。調査内容もA『学力調査』とB『学習環境調査』である。Aに関しては、限られた学年、教科のため、全国平均値に及ばなかったものの、分析により「応用活用問題」「記述問題」に課題があることが明確になった。Bに関しては、家庭での計画的な学習ができていないなどの数値が高く、家庭における学習阻害条件等の特徴が明らかになった。

##### ②千葉県標準学力検査における千葉県平均値の達成

- ・小学校、中学校とも千葉県平均値を上回ることができた。
- ・各校で千葉県平均値を達成するための観点を、小学校では20項目、中学校では15項目を設定し、その半数以上を達成するよう努力目標を決め、授業改善等を図るよう各校に指示徹底に努めた。  
(小学校評価観点は20項目⇒1・2年の検査教科は、国語、算数の2教科・3年以上の検査教科は、国語、算数、社会、理科の4教科)  
(中学校評価観点は15項目⇒検査教科は3学年とも5教科（国語・数学・社会・理科・英語）)
- ・一人ひとりのニーズに応じた指導のために、「学習サポーター」及び「きめ細かな指導のための非常勤講師」の派遣を県に要請し、市内4校に配置した。また各校における「学力向上プランニングシート」の有効な活用方法について検討した。
- ・福岡、豊成小学校にて「放課後子ども教室」を開催した。

### ③家庭学習の進め方について、指針の作成の検討

- ・家庭学習の進め方については、各学校の実態に応じて進めている。各校の状況を把握し、次年度以降に指針を示す方向で確認した。

### ④蔵書の学校図書館標準 100%の達成及びデータベース化に向けた準備

- ・図書館標準に達していない小学校が2校、中学校が2校ある。
- ・学校図書館担当者研修会を行い、図書ボランティアを活用した図書館の充実について知識と技能を高めた。
- ・市図書館と連携し、各学校の蔵書充実を図った。

## 評価・課題

基礎的・基本的な知識や技能を習得し、それらを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力の育成に努めた。具体的な取り組みとして、学力向上プランニングシートを活用し組織的に学力向上に取り組んだ結果、千葉県標準学力検査について、ある程度の結果を出すことができた。また、学習サポーター等の指導のための人員確保が効果的であった。引き続き、学力向上に係る組織的な取り組みを強化すると共に、指導のための人材確保に努めていく。

家庭学習については、指針や手引を作成して取り組んでいる学校からの成果と課題を市全体で共有し、よりよいものを示せるように検討していく。

図書ボランティアによる図書館整備は、徐々に拡大している。学校司書の配置とともに市の図書館とのネットワークの整備も視野に入れながら、人員の確保のための努力をしていく。

**重点施策 1 - (2) 特別支援教育の推進**

特別な支援を必要とする子どもが、早期からの教育相談と支援を受けられるようにするための支援体制を整備する。

- ①特別な支援が必要な子どもの個別の指導計画の作成
- ②保育補助、特別支援教育支援員の研修機会の実施
- ③関係機関と連携しての就学相談の充実

**取組内容・成果****①特別な支援が必要な子どもの個別の指導計画の作成**

- ・特別支援学級に在籍する児童・生徒全てについて個別の指導計画を作成した。
- ・コーディネーターの資質向上のために、特別支援教育に係る協議会や研修会を行った。

**②保育補助、特別支援教育支援員の研修機会の実施**

- ・特別支援教育支援員の研修会を年に2回開催し、その力量向上に努めた。

**③関係機関と連携しての就学相談の充実**

- ・簡易マザーズホームや特別支援教育ネットワーク会議等と連携し、就学相談について周知し、個別の対応を行った。

**評価・課題**

特別な支援を必要とする子どもが、早期からの教育相談と支援を受けられるようにするための支援体制を整備してきた。具体的には、連続性のある多様な学びの場を提供するために、「東金市特別支援教育ネットワーク会議」や「東金市教育支援委員会」等、関係諸団体の連携を強化し、適切な就学指導をするための会議を行った。

また、「就学相談の手引」を改訂し、一人一人の特性に応じた支援ができることを周知した。特別支援教育支援員については、1校あたり2.54人を配置しており、手厚く対応している(県平均1.70人)。今後、各学校のニーズに応じて適切な配置ができるよう、状況確認を行い、効果的に活用していく。

また、支援員の研修内容を見直し、実践力が高められるように工夫していく。県から派遣される特別支援アドバイザーが多く活用されるようになった。

今後、東金特別支援学校や大網白里特別支援学校との連携を強め、センター的な機能を生かしていく必要がある。

**重点施策 1 - (3) 情報教育の推進**

I C T機器を活用した多様な学習の場を設けることにより、子どもたちの思考力・表現力・判断力等の育成と向上を目指す。

- ①全国学力・学習状況調査で「コンピュータ等を活用して子ども同士が教え合う学習や課題発見・解決型の授業を行っている」の回答率増加
- ②I C T教育推進のために必要な周辺機器の整備
- ③I C T教育に関する研修会の実施

**取組内容・成果**

- ①全国学力・学習状況調査で「コンピュータ等を活用して子ども同士が教え合う学習や課題発見・解決型の授業を行っている」の回答率増加

|     | 基準値    | 今年度    |
|-----|--------|--------|
| 小学校 | 88.90% | 88.90% |
| 中学校 | 25.00% | 75.00% |

- ・体育、社会科及び特別支援学級においてタブレットを活用した授業を行った。
- ・S N Sの利用等に関する情報モラルの学習について、全ての小学校高学年と中学校で行った。

- ②I C T教育推進のために必要な周辺機器の整備

- ・タブレット端末の全校配置が完了した。
- ・東金中学校に校内L A Nを整備し、プロジェクター、スクリーンを配備した。

- ③I C T教育に関する研修会の実施

- ・担当教諭を対象とした研修を3回、小中学校全職員を対象とした授業研究会を2回行い、I C T機器を活用した指導方法について研鑽した。

**評価・課題**

I C T機器を活用した多様な学習の場を設けることにより、子どもたちの思考力・表現力・判断力等の定着と向上を目指し、タブレット端末の全校配置が完了し、授業でも多く活用されるようになってきた。担当者を対象とした研修や全職員を対象とした授業研究会は、I C Tの活用をより効果的にする上で、有効であった。今後は、タブレット周辺機器の充実を図り、その効果的な活用について検討していく必要がある。

情報モラルの学習については、いじめ防止の上でも喫緊の課題である。関係団体と連携を図りながら各学校に指導・助言する。また、保護者を含めた取り組みができるよう、P T A等にも情報提供していく。

## 重点施策 1 - (4) 国際教育の推進

国際化が進展する今日において、異文化理解を深め、他者を尊重し、協働するためのコミュニケーション能力等を育成する。

- ①実践的な研修や小中学校を見通したカリキュラムの検討
- ②チューター制度を活用した城西国際大学との連携の推進
- ③ 2020年東京オリンピック・パラリンピック事業への参加

## 取組内容・成果

## ①実践的な研修や小中学校を見通したカリキュラムの検討

- ・小学校高学年の英語科及び中学年の英語活動導入のためのカリキュラムを検討し、移行のための準備及び研修の機会を増やした。

## ②チューター制度を活用した城西国際大学との連携の推進

- ・城西国際大学担当者と協議し、チューター制度を活用した学習支援や部活動支援を行った。

## ③ 2020年東京オリンピック・パラリンピック事業への参加

- ・今年度は、具体的な取り組みは行っていない。

## 評価・課題

国際化が進展する今日において、異文化理解を深め、他者を尊重し、協働するためのコミュニケーション能力等を育成することを目標に、関係機関と連携した取り組みを行ってきた。具体的には、2020年の新学習指導要領の完全実施を踏まえ、近隣市町村と情報交換しながら、移行期の対応について検討した。今後、指導時数や日課表への位置づけ等を各学校と連絡・調整し、具体的な形にしていく必要がある。また、そのためのALT等の人材確保も進めていく必要がある。

現在、行っているチューター制度は、各学校のニーズと城西国際大学の学生のニーズをすりあわせることで成立している。この制度は維持しながら、各学校の教育課程の中に、城西国際大学の外国人留学生等が関われるよう検討し、国際教育を推進していく。東京オリンピック・パラリンピック事業への参加は、県や市全体の動向を見ながら、各学校の教育課程の中に位置づけられるよう検討していく。

## 基本目標 2 自他を思いやる、豊かな心を育成する

【所管：学校教育課】

### 重点施策 2 - (1) いじめ対策の推進

家庭と連携を図りながら、学校の全教育活動を通して、子どもたちに自他を思いやる豊かな心を育成する。

- ①全国学力・学習状況調査で「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている」の回答率増加
- ②子どもの心を大切にするアンケートで「学校生活を楽しく過ごしている」の回答率増加
- ③子どもと親の相談員等の相談窓口の周知と組織対応の充実
- ④生徒指導に関する研修会の実施

#### 取組内容・成果

- ①全国学力・学習状況調査で「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている」の回答率増加

|     | 基準値    | 今年度    |
|-----|--------|--------|
| 小学校 | 95.20% | 94.40% |
| 中学校 | 93.60% | 93.70% |

- ・互いのよさを認め、居心地の良い集団づくりを行なうよう、情報提供を行なった。
- ・いじめについて自らの考えを持たせ、議論する道徳教育を行なうよう促した。

- ②子どもの心を大切にするアンケートで「学校生活を楽しく過ごしている」の回答率増加

|     | 基準値    | 今年度    |
|-----|--------|--------|
| 小学校 | 97.00% | 96.10% |
| 中学校 | 95.30% | 95.80% |

- ・生徒指導の機能を生かしたわかる授業の展開を促し、授業に対する児童・生徒の意欲を喚起した。
- ・良好な人間関係の構築や、学校教育の充実により、学校への所属感を高めた。

- ③子どもと親の相談員等の相談窓口の周知と組織対応の充実

- ・子どもと親の相談員を効果的な運用ができるよう、実態を把握し適切配置した。
- ・入学説明会や保護者会、学校だより等を活用し、学級担任が中心となって周知活動を行った。
- ・「いじめ・生徒指導窓口」を学校教育課に開設し、相談活動を充実した。

- ④生徒指導に関する研修会の実施

- ・生徒指導に関する研修を年3回実施した。
- ・「東金市いじめ問題防止マニュアル」を提供し、各学校に周知した。

#### 評価・課題

「東金市いじめ問題防止マニュアル」に基づき、市全体で未然防止・早期発見・早期対応に努めてきた。特に、「子どもの心を大切にするアンケート」の実施と早期対応は、各学校において定着しており、効果があがっている。今後も、いじめの積極的な認知と早期対応の徹底を図り、重大事態にいたらないように各学校と連携していく。

また、学校教育課と生涯学習課やこども課、児童相談所や警察の生活安全課等のネットワークを生かし、必要に応じて適切な対応ができるように情報共有を図る。

**重点施策 2 - (2) 生徒指導の充実（長欠・不登校解消に向けた取り組みの充実）**

家庭と連携を図りながら、魅力ある学校・学級づくりに心がけ、長欠・不登校の解消を目指す。

- ①不登校出現率の減少
- ②全国学力・学習状況調査で「学校に行くのは楽しいと思っている」の回答率増加
- ③長欠・教育相談連絡会議の充実

**取組内容・成果****①不登校出現率の減少**

|     | 基準値   | 今年度   |
|-----|-------|-------|
| 小学校 | 0.66% | 0.62% |
| 中学校 | 2.14% | 4.14% |

- ・市こども課や家庭教育相談室等と連携して、不登校の解消に努めた。

**②全国学力・学習状況調査で「学校に行くのは楽しいと思っている」の回答率増加**

|     | 基準値    | 今年度    |
|-----|--------|--------|
| 小学校 | 84.50% | 85.60% |
| 中学校 | 80.20% | 82.20% |

- ・学校経営に関して校長の明確なビジョンが示され、教職員の共通理解・同一步調のもと、児童・生徒が過ごしやすい学校をつくることのできた。
- ・授業内容や学校行事等の充実により、学校への所属感や自己有用感を高めることができた。

**③長欠・教育相談連絡会議の充実**

- ・長欠・教育相談会議を年間10回開催し、スクールカウンセラー等関係機関と情報交換を行うとともに予防的な対応について、組織的な取組を行った。
- ・教育相談週間の設定や、校内にて生徒指導委員会等を中心に、組織的な体制づくりに取り組んだ。

**評価・課題**

長欠・不登校の出現率は、小学校では改善傾向が見られたものの、中学校では増加した。これらの原因は複雑で、各学校でも対応に苦慮しているところである。まずは、各学校が魅力ある学校づくりに努めることが第一である。これについては、各学校が年度初めに作成する学校要覧により、そのビジョンを確認することができる。また、教育長及び教育委員、学校教育課が訪問し、学校経営の状況を把握し、指導・助言することで改善されてきた。長欠・教育相談会議は、各校の情報交換を行う場となっている。今後は、それが情報交換にとどまらず、予防的な対応などの具体的な手立てとその効果を検証する場となるように、改善していく。

不登校の対応については、本人の自立を目標に学校や関係機関がどのように関わっていくかが重要である。長欠・教育相談会議（対策チーム）の充実を図るため、研修も取り入れ、関係機関との連携を強化し、対策に努める。

**重点施策 2 - (3) 道德教育の推進**

学校の全教育活動を通して、道德性を高める実践的人間教育を推進する。

- ①全国学力・学習状況調査で「人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている」の回答率増加
- ②全国学力・学習状況調査で「学校のきまり・規則を守っている」の回答率増加

**取組内容・成果**

- ①全国学力・学習状況調査で「人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている」の回答率増加

・今年度は質問項目が無くなった。

- ②全国学力・学習状況調査で「学校のきまり・規則を守っている」の回答率増加

|     | 基準値    | 今年度    |
|-----|--------|--------|
| 小学校 | 89.20% | 88.50% |
| 中学校 | 95.70% | 92.30% |

**◇地域とともに道德性を高める活動の推進**

- ・西中学校において地域と学校が協働にて地域合同防災訓練を行った。また北中学校では地域の方と一緒に地区内清掃作業を行った。
- ・全ての学校で「学校運営懇談会」を年2～3回開催し、児童・生徒の地域での様子を含めた話し合いを行った。

**◇マナーやルールを学ぶ機会の充実**

- ・各学校において基本的な生活習慣やコミュニケーション能力を高めることを意識した授業や活動を行った。

**評価・課題**

学校の全教育活動を通して、道德性を高める実践的人間教育を推進してきた。具体的な動きとしては、道德の教科化を踏まえ、その意義と実施について研究に取り組む学校が増加している。今後、より一層の充実が図れるよう、最新の情報を提供し、各学校が円滑に完全実施できるように支援していく。

また、道德については、校長が方針を示し行うことが求められている。校長会を通じて、各学校の実態や課題に応じた方針が示されるよう啓発していく。各学校の児童・生徒の状況については、定期的な報告や学校訪問により確認し、必要に応じて指導・助言をしていく。



## 基本目標 3 健やかな体を育成するとともに、体力の向上を図る

【所管：学校教育課】

### 重点施策 3 - (1) 学校体育の充実

子どもたちが生涯にわたって、運動やスポーツに慣れ親しむための態度や能力を育成する。

- ①全国体力・運動能力、運動習慣等調査における全国平均値の達成
- ②千葉県体力・運動能力テストにおける県平均値の達成
- ③全国体力・運動能力、運動習慣等調査における1週間の総運動時間が「60分未満」の児童・生徒の減少（小5男女、中2男女）

#### 取組内容・成果

##### ①全国体力・運動能力、運動習慣等調査における全国平均値の達成

- ・測定対象4（小5男女、中2男女）の内、中2男子を除く3対象が全国平均を上回った。
- ・小学校では、基礎体力・運動技能の向上を図るために、教科体育での運動量を確保するとともに、業間及び昼休みにおいて、「遊・友（ゆうゆう）スポーツランキングちば」や時間走などに取り組んだ。
- ・中学校では、教科体育や運動部活動において計画的・継続的に指導することで、基礎体力や運動能力の向上を図った。特に、教科体育では、剣道等の武道やダンスなどで、生徒の意欲を引き出し、達成感を得ることで生涯スポーツへの継続を図った。

##### ②千葉県体力・運動能力テストにおける県平均値の達成

- ・144項目中37項目において県平均値を上回った。

##### ③全国体力・運動能力、運動習慣等調査における1週間の総運動時間が「60分未満」の児童・生徒の減少（小5男女、中2男女）

| 基準値        | 今年度    | 32年度 |
|------------|--------|------|
| 小5男 10.50% | 6.50%  | 5%以下 |
| 小5女 12.08% | 13.10% |      |
| 中2男 10.20% | 11.40% |      |
| 中2女 25.60% | 23.30% |      |

#### ◇学校体育の充実及び部活動支援

- ・ブロック体育の研究指定校の参観により、指導法の工夫について情報共有した。
- ・西中学校においてバスケットボール部にて外部指導者を活用した。また、東中学校では城西国際大学と協力して、部活動の支援を行った。

#### 評価・課題

運動能力については、多くの部分で全国平均や県平均を上回る結果となった。今後は、平均に至っていない部分の改善を目標に、各学校で工夫した取り組みが行われるよう指導する。

運動習慣については、特に中2女子の状況に改善の余地がある。今後、体育主任会等に働きかけ原因の分析と課題解決のための手立てを具体化していく。また、中学校において部活動に費やす時間が多く教員の多忙化の大きな要因のひとつとなっている。そのため、休養日の設定等も含め、効果的な運動部活動の在り方について検討していく必要がある。

**重点施策 3 - (2) 健康教育の充実**

子どもたちが生涯にわたって健康で充実した生活を営む能力を身につけるため、健康の保持増進に対する意識を高め、望ましい生活習慣を身につける。

- ①肥満傾向児の出現率減少
- ②虫歯の治療処置率の向上

**取組内容・成果****①肥満傾向児の出現率減少**

| 基準値   | 今年度    | 32年度 |
|-------|--------|------|
| 9.90% | 10.91% | 7%以下 |

- ・肥満傾向の児童や生徒については、個人面談を実施し、食生活など、基本的な生活習慣の見直しについて指導した。
- ・各学校において、「保健だより」「給食だより」をもとに肥満や生活習慣病について指導した。また、児童生徒による保健委員会や給食委員会では、健康や食についての提案や発表を行った。

**②虫歯の治療処置率の向上**

| 基準値    | 今年度    | 32年度  |
|--------|--------|-------|
| 26.00% | 26.02% | 30%以上 |

- ・各学校において、年間指導計画をもとに、養護教諭や栄養職員の専門的知識を生かした健康教育の授業を行った。
- ・市内民間企業や市健康増進課と連携し、工夫した授業展開を行った。

**評価・課題**

子どもたちが生涯にわたって健康で充実した生活を営む能力を身につけるため、健康の保持増進に対する意識を高め、望ましい生活習慣を身につけることを目標に、肥満傾向児の出現率の減少並びに虫歯の治療処置率の向上に努めてきた。しかし、大きな改善は見られなかった。今後は、関係機関（健康増進課や学校医、学校歯科医）との連携を図り、より効果的な指導法や保護者への啓発方法等について検討していく。

「薬物乱用防止教育」については、全中学校で行われたことに加え、大部分の小学校高学年で行われた。今後、より一層の充実のために、学校薬剤師や城西国際大学との連携を図り、取り組んでいく。

また、「がん」等の生活習慣病に係る学習についても、関係機関との連携を強め、より効果的な指導の普及に向けてプログラムの提供を行っていく。

**重点施策 3 - (3) 食育の推進**

子どもたちが、食に関する正しい知識と望ましい習慣を身につけられるよう、食に関する指導の充実を図る。

- ①「毎日朝食を食べる」児童・生徒の割合の向上
- ②「食育に関する授業」の実践

**取組内容・成果****①「毎日朝食を食べる」児童・生徒の割合の向上**

| 基準値    | 今年度    | 32年度  |
|--------|--------|-------|
| 80.40% | 83.06% | 90%以上 |

- ・望ましい食習慣づくり等に関して、「保健だより」「学校だより」を通じて家庭や地域に周知・啓発活動を行った。

**②「食育に関する授業」の実践**

- ・「食育に関する授業」を小学校 122 学級中 120 学級、中学校 49 学級中 29 学級で実施した。
- ・各学校における食育全体計画をもとに、栄養教諭や栄養士と連携した食育に関する授業を行った。

**評価・課題**

子どもたちが、食に関する正しい知識と望ましい習慣を身につけられるよう、各学校で食に関する指導の充実を図ってきた。具体的には、栄養職員（栄養教諭及び栄養士）と連携した授業を、各学校の状況に合わせ展開してきた。また、栄養士会が中心となり、地産地消食材を使用し、工夫した給食を提供し、児童・生徒の食への関心を高めることができた。今後、このような活動を教育課程の中にしっかりと位置づけ、不規則な生活習慣を見直すためにも保護者を含めた食育の在り方について検討する必要がある。

## 基本目標 4 家庭・地域・学校の連携を強化する

【所管：学校教育課】

### 重点施策 4－（１）地域に開かれた特色ある学校づくりの推進

学校を核とした地域コミュニティの構築と、地域と連携した安心で信頼される学校づくりの推進を目指す。

- ①ホームページの更新等情報発信の充実
- ②東金版コミュニティ・スクールの充実
- ③保護者・地域と連携した安心・安全な学校づくりの推進

#### 取組内容・成果

##### ①ホームページの更新等情報発信の充実

- ・校長会議や教頭研修会等において、学校だよりや各校のホームページの充実について働きかけた。

##### ②東金版コミュニティ・スクールの充実

- ・全ての小中学校において学校運営懇談会（東金版コミュニティ・スクール）を年2～3回開催した。

##### ③保護者・地域と連携した安心・安全な学校づくりの推進

- ・関係機関と連携した通学路点検や各校ごとの安全点検や交通指導により、安心・安全な学校づくりに努めた。
- ・安心・安全メールの加入促進した。

#### 評価・課題

学校を核とした地域コミュニティの構築と、地域と連携した安心で信頼される学校づくりの推進を目指し、各学校では学校だよりによる情報発信を定期的に行い、地域や家庭からも好評を得ている。ホームページの充実については、まだ十分とは言えない状況であり、作成のための研修会を行うなどして、充実に努めていく。

子どもや家庭・地域から信頼される学校運営を進めるために「東金市学校運営懇談会」（東金版コミュニティ・スクール）を開催し、組織的な評価・改善に取り組み始めた。活動の内容は、各学校ごとに異なっており、特色のある学校経営に結びついている。今後、情報交換の場を設定し、より実効性のあるものへと改善していく。

一部中学校区では、安心・安全な学校づくりのために、地域コミュニティを活用した避難訓練を行うなど先進的な取り組みを行っている。今後も家庭と地域と学校が連携を図り、一体となった教育活動の取り組みができるよう、推進していく。

**重点施策 4－（2）学校評価の充実**

子どもや家庭・地域から信頼される学校運営を進めるために、自己評価や学校関係者評価をもとに学校運営の改善に努める。

- ①評価方法・評価項目の検討
- ②評価結果の公表の工夫
- ③学校関係者評価委員会等の組織の学校運営懇談会への統合

**取組内容・成果****①評価方法・評価項目の検討**

- ・各学校の評価項目を比較し、今後の方針を検討した。

**②評価結果の公表の工夫**

- ・学校だよりやホームページを活用した公表に取り組んだ。

**③学校関係者評価委員会等の組織の学校運営懇談会への統合**

- ・全小中学校で「学校運営懇談会」を複数開催し、学校関係者評価を行った。

**評価・課題**

子どもや家庭・地域から信頼される学校運営を進めるために、自己評価や学校関係者評価をもとに学校運営の改善に努めてきた。学校評価については、各校とも自己評価や学校関係者評価を行い、学校だよりやホームページでの公表を行っている。評価方法や評価項目については、各校に任せているが、東金市の指導の重点を加味した評価項目について共通項目を設けるなどして、経年経過を分析できるように働きかけていく。

また、東金版コミュニティスクールである「東金市学校運営懇談会」の学校評価における役割について検討し、より効果的に関わられるように方向づけていく。具体的には、学校運営懇談会において、学校評価から見られる課題を検討し、解決方法を学校に答申し、実行の手助けができるような体制作りをめざす。

**重点施策４－（３）家庭・地域の教育力の向上**

家庭でのしつけ方や教育のあり方が問われている一方、地域とのつながりが希薄になっている。心身ともに健やかな子どもの成長を図るうえで、親の果たす役割は大きく、親の教育力・コミュニケーションの向上を高める学習機会の充実を図る。

- ①子育てに関する情報の提供の充実
- ②1000カ所ミニ集会や保護者会等への参加の推進
- ③家庭教育学級の充実
- ④親業訓練講座の充実

**取組内容・成果****①子育てに関する情報の提供の充実**

- ・ホームページや学校だより、生涯学習情報誌『ときめき』等により、子育てに関する情報提供を行った。

**②1000カ所ミニ集会や保護者会等への参加の推進**

- ・市内の小・中学校で16集会を実施した。学校の適正な運営のため、地域の有識者と意見交換を行った。

**③家庭教育学級の充実**

| 基準値  | 今年度  | 32年度 |
|------|------|------|
| 768人 | 858人 | 780人 |

- ・市内の8幼稚園にて、家庭の教育力向上のため保護者及び幼児に対し、講話や体験実技など25講座を開催し、858人が参加した。

**④親業訓練講座の充実**

| 基準値 | 今年度 | 32年度 |
|-----|-----|------|
| 55人 | 40人 | 60人  |

- ・親子間の会話・コミュニケーションをより良いものにするため、ロールプレイングを基本とした入門講座・講演を実施した。
- ・市民提案型の協働事業（補助事業）を活用して、「親業訓練講座」の受講者を対象に講演・講義等を実施した。

**評価・課題**

親子間の会話は子育てにおいて重要な要素であり、親の教育力及び子どもとのコミュニケーションを向上させるうえで、必要な項目を4点掲げ取り組んできた。教育委員会（学校・生涯学習課）及び「親業」関係者と共に、学習機会の情報発信からその実施に取り組み、それぞれに恒常的な参加者があり、事業の推進が図られた。

大きな課題としては、より多くの市民にこの施策の重要性を周知させるため、既存の情報発信にプラスαの情報手段が求められる。また一過性の施策にならないよう参加者に対して、スキルアップの支援が必要である。

**重点施策 4－（4）学校施設の整備・充実**

未来を担う子どもたちが集い、生き生きと学び、生活する場であり、地域住民にとっては、非常災害時には避難生活のよりどころとなる学校施設の整備・充実を図る。

- ①老朽化対策等の改修工事完了
- ②室内環境・空調設備等の環境整備完了
- ③食の安全 小学校給食施設の整備方針等検討
  - ・小学校給食施設整備方針
  - ・学校給食衛生管理基準適合施設への整備方針
  - ・単独校・共同調理場の方針

**取組内容・成果**

- ①老朽化対策等の改修工事完了
  - ・老朽化対策等の施設の改修については、修繕の緊急性や利便性を考慮し、必要に応じて工事を行った。
  - ◇主な施設の整備工事
    - ・東金中学校旧校舎の解体工事
    - ・嶺南幼稚園屋根改修工事
- ②室内環境・空調設備等の環境整備完了
  - ・中学校空調設備の導入に向けて設計業務を予算化し、国交付金の交付要望をした。
  - ◇主な施設の整備工事
    - ・東中学校音楽室のエアコン設置工事
    - ・東小学校外1校トイレ改修工事（和式⇒洋式へ）
- ③食の安全 小学校給食施設の整備方針等検討
  - ・学校給食衛生管理基準に適合した給食施設の整備へ向けて、学校教育課を含めて検討した。
  - ◇主な施設の整備工事
    - ・豊成小学校給食室改修工事
    - ・正気小学校給食棟食品庫他改修工事

**評価・課題**

昭和50年代に建築された施設の大規模な改修工事については長寿命化計画との関連を含めて考えていかなければならないが、まだ具体的な取組は行ってないのが現状である。今後は、長寿命化計画を平成32年度までに策定することにより、施設の予防保全、維持管理に努める。

空調設備の設置については、中学校において設計業務委託を予算化し、今後、学校とも協議し国交付金の交付要望をさらに行い、早期設置に向けて工事の実施に努める。小学校については、中学校の設置後に順次計画を推進することで施設の環境整備・充実を図る。

基本目標 5 人づくりから始まる生涯学習の推進を図る

【所管：生涯学習課】

重点施策 5－（1）多様な学習機会の提供

今日の自由時間の増大などの社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいのための学習需要が高まっているため、時代のトレンドや市民ニーズに対応した情報、講座、体験学習などの学習機会を提供することで、充実したライフスタイルの支援や人材育成を図る。

- ①生涯学習データベース登録団体数の増加
- ②生涯学習の情報提供について既存の媒体以外の提供を検討

取組内容・成果

①生涯学習データベース登録団体数の増加

| 基準値  | 今年度  | 32年度 |
|------|------|------|
| 67団体 | 67団体 | 70団体 |

- ・市民の学習環境をサポートするため、生涯学習の活動を行っている指導者 31 人・67 団体を登録・公表した。

②生涯学習の情報提供について既存の媒体以外の提供を検討

- ・生涯学習の情報を広く市民に提供するため、生涯学習情報誌「ときめき」を年 3 回発行（1 回 7,500 部）し、市内外の公共施設や民間施設等に配布した。また、その他の情報手段として、「長生・山武地域イベント情報」など広域の提供を行った。

評価・課題

多様な学習機会の提供として、二つの施策を掲げた。サポート体制は、ほぼ整っているがそれを活用するまでに至っていない。また既存のホームページや生涯学習情報誌「ときめき」以外の情報提供については、幾つかの提供を行っているが効果は低い。

今後、広報とうがねやデジタル媒体との活用を図り、情報提供及び人材育成の検討をしていく必要がある。



**重点施策５－（２）青少年健全育成の推進**

家庭、地域社会との連携により、青少年の健全育成を地域で支える体制づくりを進める。また、青少年の団体活動、交流活動への参加機会の拡充を図り、仲間や地域の人々とのふれあいを通じて成長を促す。

①関係団体との連携により、青少年の健全育成に資するイベント等の実施継続

**取組内容・成果**

①関係団体との連携により、青少年の健全育成に資するイベント等の実施継続

## ◇青少年相談員連絡協議会活動の実施

・補助金を交付し、青少年健全育成標語表彰式、夏の交通安全教室、防犯パトロール、防犯教室、ウォークラリー大会等を実施し、事務局として活動の支援を行った。

## ◇子ども会育成協議会活動の実施

・補助金を交付し、房総子どもかるた大会、お化け屋敷、子ども会中央大会（軽スポーツ）等を実施し、事務局として活動の支援を行った。

## ◇あづみの探検隊の実施

・長野県安曇野市の雄大な自然の中で自然体験プログラムを実施予定だったが、今年度は実施直前に台風上陸の予報を受け中止した。

## ◇ジュニアリーダースクラブ活動の実施

・補助金を交付し、ジュニアリーダー養成講座、サマーキャンプ、お化け屋敷の運営手伝い等を実施し、事務局として活動の支援を行った。

## ◇青少年育成東金市民会議等による青少年育成団体の活動支援

・青少年健全育成講演会、青少年育成団体へ補助金を交付し、事務局として事業を支援した。

**評価・課題**

参加対象が小中学生を中心となる各種事業を開催し、参加機会の拡充を図ることができた。青少年健全育成に対する理解を多くの世代に深めてもらうことが課題であるため、今後は、事業参加型募集だけに留まらず、事業支援ボランティアの活用も含めて、検討していく。

**重点施策 5－（3）公民館事業の充実**

子どもから高齢者まで、幅広く生涯学習活動に取り組むきっかけの場として、様々な講座等を実施し、また学習意欲の向上と継続の場として、更には人と人とのつながりを広げることで、生涯にわたる生きがい作りの機会を提供する。

- ①公民館の利用者増と利用者満足度の向上
- ②中央公民館稼働率の増加
- ③中央公民館耐震補強工事の実施

**取組内容・成果****①公民館の利用者増と利用者満足度の向上**

- ・利用団体数

|       | 基準値    | 今年度    | 32年度   |
|-------|--------|--------|--------|
| 中央公民館 | 73 団体  | 73 団体  | 80 団体  |
| 地区公民館 | 145 団体 | 130 団体 | 160 団体 |

- ・年間講座、夏休み講座、冬休み講座、単発講座の計 18 事業を実施した。事業内容については、概ね前年度からの継続であるが、長年実施していた「子ども将棋教室」が講師の健康上の理由により講座が中止となった。

**②中央公民館稼働率の増加**

| 基準値   | 今年度   | 32年度 |
|-------|-------|------|
| 42.1% | 40.9% | 50%  |

- ・全公民館の利用人数は 123,390 人と、平成 27 年度比で 9.26%減少した。

**③中央公民館耐震補強工事の実施**

- ・中央公民館耐震補強工事は平成 29 年 2 月を以って完了した。

**評価・課題**

中央公民館耐震補強工事による施設の一部閉鎖・全閉鎖が発生したため、中央公民館の利用人数が減少した。また、「色鉛筆画教室」「パン作り教室」「園芸教室」等、長年継続実施している主催事業において、講師の高齢化等の理由により今後の事業継続が懸念されるため、時代のニーズに合った新規の主催事業の検討やサークルの誘致等を行い、公民館の稼働率の増加に努めたい。

公民館施設改修事業について、地区公民館においても修繕工事を実施しているが、全公民館の傾向として施設の老朽化が進んでおり、改修・修繕が増加傾向にある。今後も改修・修繕の緊急性を考慮し、安心・安全に利用できる公民館となることで、充実した公民館運営を図っていく。

## 重点施策５－（４）図書館事業の充実

利用者の多種多様なニーズに応えられるよう図書館資料を充実させるとともに、各種主催事業を展開することを通じて、図書館利用者の増加を図る。

また、老朽化が進んだ図書館の適正な補修管理を行い、安全で良好な読書環境を整備する。

- ①図書館資料の充実、利用者の増加
- ②図書館耐震補強工事の実施

## 取組内容・成果

## ①図書館資料の充実、利用者の増加

- ・貸出冊数

| 基準値      | 今年度      | 32年度     |
|----------|----------|----------|
| 258,210冊 | 268,669冊 | 283,000冊 |

- ・東金市図書館資料収集基準に基づき、図書4,091冊・DVD22枚・CD39枚を購入し、現在の蔵書数は148,722冊・DVD723枚・CD1,376枚となった。また、学校図書館の蔵書充実のため、本を提供した。

## ◇各種主催事業の実施

|             |     |        |
|-------------|-----|--------|
| ・ブックスタート    | 12回 | 234名   |
| ・おはなし会      | 48回 | 411名   |
| ・図書館こどもフェスタ | 1日  | 178名   |
| ・一日図書館員     | 10回 | 29名    |
| ・冬のおたのしみ会   | 1日  | 83名    |
| ・教養講座       | 2回  | 113名   |
| ・本のリサイクル    | 2回  | 4,297冊 |
| (廃棄本等の無料提供) |     |        |

## ②図書館耐震補強工事の実施

- ・今年度は工事の実施に向けて、設計業務委託の予算化をした。

## 評価・課題

昨年度より、蔵書、AV資料ともに増加させることができた。貸出冊数についても、今年度については、基準値より10,459冊多く貸出することができた。

しかし、電子図書やスマートホンの急速な普及により、図書館離れが懸念されていることから、市民のリクエストのあった本や人気の本を取り揃えるなど、より魅力のある本を収集し利用者の増加させていく考えである。

また、絵本の読み聞かせ等を行うおはなし会や、講師を招いての教養講座など各種事業を充実させ、図書館を多くの人達に利用してもらえるよう検討していくところである。

このほか、利用者が安全・安心できる読書環境の整備のため、図書館耐震補強工事を進める方針である。

## 重点施策 5－（5）城西国際大学との連携

多様な市民の学習ニーズに対応するため、城西国際大学と連携し、専門的な教育資源の活用を図る。

## ①公開講座の参加者数の増加

## 取組内容・成果

## ①公開講座の参加者数の増加

| 基準値  | 今年度  | 32年度 |
|------|------|------|
| 103名 | 118名 | 120名 |

- ・教養講座3回（延67人）及びパソコン講座3コース（延51人）を実施した。教養講座のテーマは市民の要望を参考に毎回大学と協議し、またパソコン講座も基礎から学べるように開催した。
- ・生涯学習情報誌「ときめき」にて公開講座のPR・募集は勿論、水田美術館や大学の生涯教育センターの情報提供を行った。

## 評価・課題

城西国際大学との連携はその専門性を活かし、市民のニーズを考慮し事業の実施を行った。また本市の生涯学習情報誌「ときめき」を利用して美術館や生涯教育センターの情報提供も行っている。

事業への参加は恒常的にみられるが、その講座内容によって参加人数が左右されるため、そのニーズの分析が重要になる。

大学との連携は東金市の教育の発展のため、協働も含めて有効に活用していくことが重要であり、今後は講座の開催だけでなく幅広い分野において連携できるよう協議していく必要がある。

## 基本目標 6 歴史・文化を活用した地域力の向上を図る

【所管：生涯学習課・公民館】

### 重点施策 6－（１）芸術文化団体活動の推進

市民が優れた芸術文化に親しめる機会を確保するとともに、多様な文化活動を通じて交流が深められるよう、文化活動の支援を図る。

- ①まい・舞・はやしフェスタ参加者数の増加
- ②東金市文化祭参加者数の増加

#### 取組内容・成果

##### ①まい・舞・はやしフェスタ参加者数の増加

| 基準値  | 今年度  | 32年度 |
|------|------|------|
| 776人 | 749人 | 800人 |

- ・市内で活動している獅子舞やお囃子の伝統芸能保存団体9団体が文化会館において出演した。若干、参加者（見学者）が少なくなったが、若年層の参加及び出演者間の技術の交流が図られた。

##### ②東金市文化祭参加者数の増加

|        | 基準値    | 今年度    | 32年度   |
|--------|--------|--------|--------|
| 文化展    | 1,223人 | 1,279人 | 1,300人 |
| 文化芸能大会 | 1,058人 | 1,196人 | 1,100人 |

- ・文化展は34の参加団体・4個人、文化芸能大会では31団体が参加し、見学者総計は2,475人でした。参加者による文化振興実行委員会を中心に企画運営を図り、展示方法の工夫や体験コーナーなどを設け、参加増に努めた。

#### ◇地区文化祭の開催

- ・地区公民館の活用と活性化のため、5箇所の地区公民館にて各市民と協働で、地区文化祭を開催した。

#### ◇文化団体協議会の活動支援

- ・同団体が実施している芸能祭や会報発行などの事業に対して支援、さらに市の文化祭に参加し、企画運営を行った。

#### 評価・課題

市内にある芸術文化団体に発表の場を設けることは、その伝統、技術、歴史の継承、そして団体・地域の活性化の観点からも重要である。例年、多くの市民が参加しており、全体的に高齢化もみられるが、若年層の参加も徐々に増えている。

今後は、地区公民館活動の充実、世代間交流を推進する事業の展開などを通して、若年層に対しても魅力ある活動をアピールし、地域一体となった事業の支援を図る。

### 重点施策 6－（2）郷土の歴史と文化の保存・活用

市内に残る歴史と文化は市民の財産とし、その収集・保存・活用に努めることで、次代に継承することが図られ、地域への愛着と誇りを育みます。また郷土芸能への支援および発表の機会を設けることで、その継承と周知普及、そして後継者育成を図る。

- ①地域の歴史文化を「まちづくり」に活かすため、その収集及び活動の場の創出
- ②歴史資料の保存と市民への還元を目的に、市史編纂事業に向けた史料の整理・保存

#### 取組内容・成果

##### ①地域の歴史文化を「まちづくり」に活かすため、その収集及び活動の場の創出

- ・地元の歴史研究愛好会と協働で、関寛斎の生誕記念講演会（2月）及び文化会館の常設展示室を活用し、歴史展示を実施した。
- ・専門家による歴史講演（108人の参加者）、また市内に所在する指定文化財等を周知するため、解説板の設置を行った。

##### ②歴史資料の保存と市民への還元を目的に、市史編纂事業に向けた史料の整理・保存

- ・寄贈された歴史資料や新たに発見された資料（埋蔵文化財含む）を整理し、本市の歴史を新たに編纂した。また、古文書の一部を整理し刊行した。
- ・市内に残る文化財の調査を行い、その活用を検討した。
- ・生涯学習情報誌「ときめき」や文化財ガイドブック、さらに商工観光課などの刊行物に東金の歴史文化を紹介した。

#### 評価・課題

郷土の歴史文化に関わる資料および展示講演等の事業については、地元の歴史保存団体や文化財審議会等との協働が定着し、活発になってきている。大きな課題としては、高齢化が多く、若い世代層の事業参加が求められる。将来的に世代間交流ができるイベント・事業を通して後継者の育成を図る。

また、歴史資料の整理・保存・活用が一部行われたが、公開・保存は未だ十分ではない。先人たちが残し伝承してきた歴史文化を、市民に還元すること、そして観光資源として活用するために、本格的な事業展開に必要な体制づくりを今後進めていく。

## 重点施策 6－（3）文化施設の利用促進

文化活動や芸術活動など多様な活動の拠点となる文化会館施設を安心、安全に活用できるよう常に整備を行い、施設環境を整え各種活動の支援を図る。

- ①東金文化会館の指定管理者と連携を図り、事業の開催等その効果の検証
- ②東金文化会館利用者数の増加

## 取組内容・成果

## ①東金文化会館の指定管理者と連携を図り、事業の開催等その効果の検証

- ・指定管理者が実施する自主事業、共催事業、興行事業などを通して、市民へ文化振興の普及に努めた。

## ②東金文化会館利用者数の増加

| 基準値      | 今年度      | 32年度     |
|----------|----------|----------|
| 141,069人 | 129,845人 | 145,000人 |

- ・今年度の重点事業として「東金ゆかりの芸術家たちスプリングコンサート」や Kiroro コンサート等を実施した。

## 評価・課題

文化会館の利用者数は興行の内容、実施日数により増減があるが、会議室や展示室の利用日数・件数は横ばいであり、引き続き事業の開催について検討していく。

指定管理者と連携して、安心・安全に使用できるよう修繕、改修を行い施設の維持管理に努めているが、施設や設備の老朽化及びバリアフリー化等に対する計画的な対応が課題である。今後も事業の開催等について指定管理者と連携し、文化会館施設の有効活用を図る。

【スポーツ振興の柱】

## 健やかで活力に満ちたライフスタイルの支援

### 基本目標 7 誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーションの推進を図る

【所管：スポーツ振興課】

#### 重点施策 7- (1) スポーツ・レクリエーション活動の充実と推進

スポーツ・レクリエーションは、体力づくり・健康づくりに大切であるばかりではなく、地域間交流や世代間交流の推進、地域コミュニティの活性化などの面からも、大きな役割が期待されている。

こうした中で、「いつでも、どこでも、いつまでも」誰もが気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーション体験の場を提供し、その普及・振興を図る。

##### ① スポレクデーの参加者数の増加

#### 取組内容・成果

##### ① スポレクデーの参加者数の増加

| 基準値  | 今年度  | 32年度 |
|------|------|------|
| 397人 | 398人 | 600人 |

- ・ノルディックウォーキング、ディスクゲッターをはじめ、19種目の初心者向けニュースポーツの紹介や体力テストを行うなど、スポーツへのきっかけづくりを行った。

##### ◇市民のスポーツ大会・イベントの開催

- ・市民体育祭【参加者：2,300名 雨天により途中中止】
- ・秋の歩け歩け大会（鋸山方面）【参加者：100名】
- ・市民駅伝大会【参加者：61チーム 516名】

##### ◇スポーツ教室の実施

- ・日本トップリーグ連携機構のリーグに所属する選手や指導者による、「ボールゲームフェスタ・IN・東金」を開催し、小学生約270人の参加があった。

#### 評価・課題

平成28年度開催の市民体育祭については、雨天により途中中止となったが、スポレクデーをはじめ、各種スポーツ大会やスポーツ教室を開催し、多くの市民がスポーツを楽しむ交流することで、スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図ることができた。

今後は、毎年参加者が固定化することなく、より多くの市民が参加したいと思うような魅力あるスポーツ大会やイベントを検討していく。



**重点施策 7 - (2) 関係団体との連携とスポーツ指導者の養成**

スポーツ関係団体との連携を密にし、講習会等の開催によりスポーツ指導者の確保、育成を図り、指導者の資質の向上を目指す。

- ①スポーツリーダーバンク登録指導者等の有効な活用がされるよう、効果的な情報発信
- ②スポーツリーダーバンク登録者数の増加

**取組内容・成果****①スポーツリーダーバンク登録指導者等の有効な活用がされるよう、効果的な情報発信**

- ・ホームページ、広報紙を活用し広く情報発信するとともに、市内小中学校に対してもスポーツリーダーバンクの情報提供を行った。

**②スポーツリーダーバンク登録者数の増加**

| 基準値 | 今年度 | 32年度 |
|-----|-----|------|
| 18名 | 16名 | 25名  |

**◇スポーツ指導者研修会の開催等による指導者の資質の向上**

- ・スポーツリーダーバンク講習会を実施した。【参加者：40名】

講師：渋谷崇行氏

(一社)スポーツフォーキッズジャパン代表、桐蔭横浜大学大学院准教授

テーマ：「ジュニアスポーツ指導者のための役に立つスポーツ心理学」

参加者：スポーツリーダーバンク登録指導者、体育協会、スポーツ推進委員、  
スポーツ教室指導者、学校体育指導者、スポーツ少年団

**◇関係団体との連携強化**

- ・体育協会、スポーツ推進委員会、(公財)東金文化・スポーツ振興財団と連携を図り、各種スポーツ活動を推進・支援した。
- ・(一社)東千葉スポーツクラブと連携し、ノルディックウォーキング、太極拳等の教室の場を提供した。

**評価・課題**

平成28年度のスポーツリーダーバンクの登録者数は16名で減少傾向である。また、登録指導者等の有効な活用が課題であることから、スポーツリーダーバンク登録指導者の育成、発掘、また、活用法など広く市民へアピールし有効に活用されるような仕組みを構築することが必要である。

**重点施策 7 - (3) スポーツ施設の利用促進**

スポーツ活動や健康維持活動など多様な活動の拠点となる東金アリーナ外 3 スポーツ施設を安心、安全に活用できるよう常に整備を行い、施設環境を整え、各種活動の支援を図る。

- ①指定管理者と連携を図り、事業の開催等その効果の検証
- ②スポーツ施設（4施設）利用者数の増加

**取組内容・成果****①指定管理者と連携を図り、事業の開催等その効果の検証**

- ・自主事業【19事業 延べ参加者合計 10,536名】
  - あすなるチャレンジアップクラブ 延べ 1,673名
  - エアロビクス教室（初・中級） 延べ 1,399名
  - 青竹体操教室 延べ 631名 他
- ・共催事業【7事業 延べ参加者合計 2,860名】
  - アリーナフットサルカップ 延べ 385名
  - シニアオープン卓球交流大会 延べ 100名 他
  - その他、後援事業、協力事業として各種スポーツ事業を実施した。

**②スポーツ施設（4施設）利用者数の増加**

| 基準値      | 今年度      | 32年度     |
|----------|----------|----------|
| 223,922人 | 241,640人 | 230,000人 |

**◇施設の修繕・改修**

- ・利用者の利便性や修繕の緊急性を考慮し、エアコン、給湯器、トイレの修繕等を実施した。

**評価・課題**

各スポーツ事業・教室を展開する中で、その参加者をはじめ、多くの市民のスポーツへの関心、健康に対する意識の向上が図られ、スポーツ施設を利用した自主的な活動やトレーニング施設の利用者が大幅に増加したことから、目標とする利用者数を上回ることができた。

また、施設利用者の利便性と施設の保全のため、指定管理者と連携して修繕を実施しているが、今後は、空調機器などの大規模改修の時期が迫っているため、各施設、設備毎の改修計画を定め整備を図る必要がある。

**基本目標 8 2020東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの  
推進を図る**

【所管：スポーツ振興課】

**重点施策 8－（１）2020 東京オリンピック・パラリンピック 事前キャンプ誘致**

大会に参加する国や地域の選手団等の事前キャンプを誘致することにより、スポーツ活動や国際交流の推進、更には観光 PR など市のプロモーションを図り、もって市の活性化を目指す。

①本市にとって国際理解教育等に有益な海外の参加国をキャンプ地として誘致

**取組内容・成果**

①本市にとって国際理解教育等に有益な海外の参加国をキャンプ地として誘致

- ・市企画課及び千葉県と連携し「オリパラ CHIBA 推進会議」事前キャンプ誘致部会に、東金市、大網白里市、長柄町、生命の森リゾートで構成する分科会を設置し、参加国、地域の事前キャンプ誘致を目指して活動した。
- ・これまでにニュージーランド、オランダ及びケニアの3カ国の視察団に対し誘致活動を行った。

**評価・課題**

3カ国の視察団が来場し、アリーナ本館、陸上競技場など詳細な視察が行われた。施設の説明には、市長自ら陣頭指揮を取りプレゼンテーションを行い、各国からは施設設備について大変良い評価を得たが誘致の決定には至っていない状況である。

キャンプ誘致に関しては、宿泊施設などの関連施設を含めた取組みが必要であることから、今後も市企画課、千葉県スポーツコンシェルジュ等と連携して誘致活動を展開する。また、屋内外の施設が常にベストコンディションであるように維持管理に努め、視察団へアピールしていく。

## 重点施策 8－（２）スポーツ人口の拡大

キャンプ地の誘致によるスポーツ熱の高まりをバネにスポーツ人口の拡大を図ることで、健やかで活力のあるまちづくりを目指す。とりわけ小中学生から大学生を中心とする世代においてはこれを契機に国際感覚を身につけ、市民活動の活性化を促進する。

- ①事前キャンプ誘致が一過性のイベントに終わらず、本市のスポーツ人口拡大の契機となるよう、継続的な取り組みの実施

### 取組内容・成果

- ①事前キャンプ誘致が一過性のイベントに終わらず、本市のスポーツ人口拡大の契機となるよう、継続的な取り組みの実施

- ・スポーツへの関心を高めるため、アスリートとの交流事業を実施した。

フットサルスクール【参加者：113名】

講師：鳥丸太作氏（日本フットサルリーグ 元バルドラル浦安）

（3才児から小学生までを対象 1期・2期・3期「年3期」の実施）

「体幹スイッチ」ランニングセミナー【参加者：72名】

講師：青山剛氏（元トライアスロン日本代表 プロフェッショナルコーチ）

### 評価・課題

交流事業には、小学生からシルバー層まで老若男女を問わず幅広い参加者があり、スポーツ人口の拡大を図る上で一定の成果を得られたと考える。今後もトップアスリートとの交流など、より多くの市民がスポーツへの関心を高められるような事業を継続的に実施する。

また、事前キャンプ地の誘致が決定した際には、参加選手等の協力を得て、次世代アスリートの育成のための技術レッスンなどを検討していく。